

Mランドニュース Vol.150

丹波ささ山校 令和元年9月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

私たちの制約の中で、最善の
誠意を尽くす毎日を過ごす。

平成28年7月30日

小河二郎前会長 弊社講話より

Mランドウォッチング

営業チーム 近藤 正幸

八月十五日(木)、待ちに待った「デカンショ祭」がやってきました。

特に今年は何号が「令和」、そして市名改変で「丹波篠山市」となった、記念すべきデカンショ祭です。

そんなデカンショ祭に、ゲストの皆さまと「Mランド連」を結成し、総踊りに参加する予定でしたが、大型台風十号が接近し、残念ながら、デカンショ祭一日目は、中止となってしまいました。

そこでゲストのために、職員からアイデアを募り、急遽イベントを計画しました。

突然のイベントでしたが、約三十名のゲストが参加され、「十秒チャレンジ」や「ジェスチャーゲーム」、勝った人が負けた人に勝利を譲るという「Mランドじゃんけん」など、会場は熱気にあふれ、大盛り上がりとなりました。

日頃は教習で顔を合わす程度で、会話することもないゲスト同士ですが、この日は

一丸となって目標達成のために奮闘されました。

ジェスチャーゲームでは、何とか答えを伝えようとする手この手。その一挙手一投足に観客席から拍手や歓声がわきあがります。

勝つても負けても楽しく、仲間の輪が広がっていくのに時間はいりませんでした。



ジェスチャーゲーム「ねえ! 分かる!」

皆さんとともに楽しい時間を過ごせ、はじけるような笑顔に私たちの方が元気をいただきました。

翌朝、ひと際「おはよう!」の声が元気に感じました。



笑顔の花が咲きました

デカンショ祭

営業チーム 前川 昂希

デカンショ祭の第一日目は、台風の影響で中止になってしまいました。翌十六日は台風も去り、デカンショ祭は無事開催されました。

地元で開催される、年に一度の祭りですので、全国からお越しのゲストにも、丹波篠山の魅力をぜひ知っていただき、ひと夏の楽しい思い出になれば、祭り会場までの送迎バスと、浴衣のレンタルをご用意しました。

当日に募集をかけたところ、インストラクターの勧めもあり、多くのホーム生からお申込みをいただきました。

お気に入りの柄の浴衣に着替えられた皆さんは、教習の趣と一変して、Mランドに夏の彩を演出してくれました。

その中、デカンショ祭に参加され、特に楽しんでおられたお二人から、感想文をいただきましたので、ご紹介させていただきます。

宮澤 采里様
福岡 里夏様

私たちは、愛知県から二人で合宿に来ました。

入校してから「デカンショ祭」のことを知り、合宿二日に祭りに行ってきました。

教習が終わった後、レンタルさせてもらった浴衣に着替え、会場までの送迎を行ってくれという嬉しいサービスを利用し、会場に向かいました。

会場に到着すると、大きなやぐらにデカンショ節や、数えきれないほどの活気あふれる屋台、夜空に勢いよく打ち上がる花火、祭りを彩る灯笼や提灯、関西弁を話す子どもたち。

愛知県からきた私たちにとってはすべてが新鮮で、三日間の滞在で丹波篠山の伝統的なお祭りに参加できたことがとても嬉しく、とても素敵なことだなと感じました。



篠山城に上がる花火

また、多くの踊りの参加者のグループが、ルールやマナーを守っていることや、ボランティアでゴミ拾いをしていいる若い人がいるなど、丹波篠山の人々の温かさにも触れることができ、心も満たされました。

どこにでもある「地域の夏祭り」だと思っていましたが、想像していたよりも大きく、合宿中にこんな素敵な経験ができるとは思っていませんでしたので、良い気分転換にもなり、最高の夏の思い出となりました。

お二人は祭り会場の規模や、人の多さにも驚かれました。ごようすで、翌日、他のゲストの皆さんからも「昨日のデカンショ祭、楽しかったです!」と声を掛けていただきました。

「合宿免許」と「デカンショ祭」、一生の思い出に。



さて、来年はどんな感動が!

Mランドと私



共習チーム 石橋 学

私はMランド丹波さき山校に入社して、十三年目になります。

この十三年間でさまざまな経験をさせていただきましたが、その中でも最も心に刻まれ、記憶に残っている出来事があります。

それは平成二十年七月八日、九日に行われた社員研修です。この研修は名実ともに日本一の山、「富士山に登る」という、私の想像をはるかに超えるものでした。

不安と期待の入り混じる中で迎えた登山当日、直前まで降っていた雨も上がり、富士山五合目からの研修が

始まりました。

登山中にすれちがう多くの登山者と、笑顔であいさつを交わし、登っていく富士山は、とても気持ちの良いものでした。

七合目に到着した際には、研修の目的のひとつでもある、「トイレ掃除」を行いました。富士山のトイレには水道

がありませんで、事前に準備していた、各自ニリットルの水が入ったペットボトルを荷物と一緒に持って上がり、社員五人でトイレを掃除し、この時、一滴の水がどれほど貴重であるかを知りました。標高の高い過酷な状況下ではありましたが、掃除を

終えたころには清々しい気持ちとなり、前向きな気持ちへとしぜんに変化していたことに気付かされました。

その後、八合目で山小屋に入りお世話になっている三人に、山頂ポストに投函するハガキを書きました。

翌朝四時に再出発。順調に歩を進めていたのですが、九合目に到着する頃に体調が急変し、高山病にかかってしまいました。

携帯していた酸素ボンベも、残量が残り僅かとなり、と

ても苦しい時間もありましたが、仲間の支えのおかげでなんとか登頂することができました。

仲間と一緒に富士山頂から見た目下に広がる景色は、言葉では言い表すことのできないほどの感動で、これまでの疲れもどこかに消えていきました。



ことばにならない感動でした

私は当所、「富士山に登る」という内容の社員研修に、「教習所と富士山になんの関係があるのか」という疑問を抱いていました。

しかし、富士山の頂に身を置いた時、この疑問はすぐに解決できました。

「日本一の教習所を目指すMランド」として「日本一高い富士山に登る」。

登頂までの険しい道のり、困難、仲間との助け合いなど、頂に立つまでに経験したすべのことが、企業としてなくてはならないものだということ

とを、頭ではなく「五感」で感じ得ることができました。

この時の経験は、十数年経った今でも心に深く刻まれており、生涯忘れることはないと思います。

これからも、あの日の気持ちを心に刻み続け、日本一の教習所を目指し、尽力してまいります。

お便り

通学コースで通われていた西端楓奈様より、Mランドに嬉しいお便りを送っていただきましたので、ご紹介させていただきます。

丹波さき山校の皆さま

こんにちは。六月から通い始め、八月十一日に普通AT通学コースを卒業させていただきました。八月十三日に明石運転免許試験場に行き、本免許の学科試験に無事、合格いたしました。

教習期間中、ご指導いただきました。たくさんの方には、本当にお世話になりました。

私は、地元が三田市(丹波篠山市の隣)だったので、ど

この教習所に通うか迷っていましたが、友人がMランドの卒業生であったこともあり、Mランドに決めました。

教習が始まると、素敵なインストラクターばかりで、とても楽しく多くの事を学べました。Mランドにして本当に良かったと思っています。今後も学んだことを忘れずに車の運転や、生活を送って参りたいと思います。

末筆ではございますが皆様のご活躍、ご発展をお祈り申し上げます。

Mランドは皆さんの第二のふるさです。いつでも帰って来てください。

今月のありがとうカード

Mランドの皆様

私たちの知らない所で様々なサポートをして頂き、ありがとうございます。「ありがとうカード」を書くことが習慣となり、人に感謝の気持ちを伝えることは、とても素晴らしいことだと学びました。大切なことを教えて頂きありがとうございました。野口 愛由様

Mランドの皆様

二週間、本当にお世話になりました。教習以外にもロビーで先生と話したり、学科の質問をしたり、ボランティア活動で運転以外の大切なことを教えていただいたり、心の成長を感じる二週間でした。ここで学んだことを自信にかんがります。浅田 晴夏様

編集後記

ちょっと少しの思いやりで交通事故は防げるものです。「我が先」の運転をしていなくては、事故は無くなるはずがありません。

ドライブレコーダーの要らない車社会を願って。(徹)

【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にトイレを掃除しましょう。

9/15 (日) 八上小学校 東トイレ (AM7:00~8:00 担当:前川)

9/29 (日) 篠山中学校 運動場トイレ (AM8:00~9:00 担当:中野)

※参加していただける方は井本までご連絡ください。